

品質を保証する

「自工程完結活動の進め方」

と き 2026年 6月 19日 (金) (1日コース 10:00～17:00)

と ころ 中産連ビル 研修室(名古屋市東区白壁3-12-13) または、オンライン(Zoom配信)

ご参加
いただきたい方

- 製造・品質管理・生産技術部門の方
- 品質を保証する考え方を学びたい方
- 自工程完結の基本的な考え方を学びたい方
- 「品質造り込み能力」の強化方法を学びたい方
- 自職場や外注先の指導育成に携わる方

本研修のねらい

お客様に満足していただける質の良い製品を提供し、継続的に安心して使っていただける信頼を獲得することはとても大切なことです。そして、「品質保証」は、今後も事業発展の要だといっても過言ではありません。品質保証レベルを向上するために、様々な改善活動や各種ツールが紹介されています。手法を単に知っている又、ツールの使い方が上手か否かではなく、「品質保証を体系」として理解して活動を推進することが必要不可欠です。改善対象となる業務が果たすべき役割をしっかりと整理しメンバーにその理由を浸透させ、改善後のあるべき姿を明確にイメージさせることができれば成果へとつながります。

本研修では、成果が出る自工程完結活動をどのように取組むべきなのか講師の経験をもとに解説いたします。

研修プログラム

1. 「品質保証」について

- (1) 「品質」と「品質保証」では何が求められているのか?
- (2) 最近の品質のとらえ方
製品品質、サービスの質+安心・安全
- (3) T社の考える「品質保証」の基本とは
 - ① お客様第一……………企業中心の考え方と決別
 - ② 品質第一……………品質は、会社の生命線
 - ③ もの造りの原点…TPSの「自動化」と「完結工程」
 - ④ キーワード……………品質は工程で造り込む、源流管理、現地現物

2. 品質保証の全体像

- (1) 新製品開発での品質保証の考え方(未然防止)
- (2) 品質造り込みのしくみ(品質保証体系)
- (3) 全社品質管理(TQM) (4) 方針管理(重点指向)

3. 製造品質確保の考え方

- (1) 設計要件、生技要件、製造要件
- (2) 工程能力の維持・管理と検査(QC工程表、作業手順・要領書)
- (3) 発生・流出防止の備え=QAネットワーク
- (4) 異常処置 (5) 変更管理

4. 現場管理の実際(トレーサビリティの確保)

- (1) 目で見る管理の考え方
- (2) ライン状況・工程の見える化
 - ① 5S活動 ② 異常の顕在化
 - ③ 変化点の顕在化

5. 不具合対策と再発防止(改善スキルの向上)

- (1) 処置と対策
- (2) 真因追究(事実に基づくなぜなぜ分析)
- (3) 5現主義(現地、現物、現実、原理、原則)
- (4) 再発防止(恒久対策、プロセスの改善)

6. 自工程完結

- (1) 自工程完結とは
- (2) 現場の自工程完結
 - ① 工程の4M条件の明確化 ② 異常の検出
 - ③ すべての作業の標準化
- (3) スタッフに必要な自工程完結とは
 - ① 理想(必要十分なアウトプット)の明確化
 - ② 現状とのギャップ(困りごと)を調査し、ムリ・ムラ・ムダを排除
 - ③ 良品要件、良品条件の標準化

品質を保証する「自工程完結活動の進め方」

単に「ツール」の使い方をマスターするだけでは成果にはつながりません。

- ☑ 品質不良の発生・流出を防止する工程を作り上げたい。
- ☑ 社員の品質向上したいという意識が薄いため改革を狙いたい。
- ☑ 後工程に不良を流さない仕組みを作り上げる実力をつくりたい。
- ☑ 自社製品・外注品の品質レベルをこれまでよりも向上したい。
- ☑ 構想～設計開発～生産準備～生産～販売まで、品質問題での手戻りを無くしたい

- ⇒QAネットワーク、完結工程づくり
- ⇒品質とは、品質保証とは
⇒顧客満足とお客様の信頼獲得の理解
- ⇒現地現物(三現主義)、再発防止の実践・強化、未然防止の品質保証体系の理解
- ⇒再発防止
⇒未然防止、自工程完結
(体制整備のツール)

- ① 「品質作り込み能力」の強化方法
 - ② 自職場の品質の安定と向上を目指す抜本的な対策
 - ③ 自職場や外注の指導と育成の進め方

講師 **石田 久美 氏**
トヨタグループ企業の事業部門・コーポレート部門で部門長を歴任。業務歴は、自動車部品の新製品開発から、生産準備・量産管理・市場対応・仕入先管理など品質保証の上流から下流まで全般を担当。TQM、品質マネジメントシステム認証取得(QS、TS、IATF)、自工程完結などを活用したレベルアップ活動を推進。

品質を保証する「自工程完結活動の進め方」(6/19) 参加要項/参加申込書 ※必要事項をご記入のうえ、切らずにこのままFAXをお送り下さい。

参加費 (1名様)	[中産連会員] 36,300円(消費税込) [中産連会員外] 41,800円(消費税込)
申込方法	<ul style="list-style-type: none"> ●中産連ホームページの各セミナー詳細よりお申込みください。(https://www.chusanren.or.jp) 申込みが完了しますと、申込責任者のメールアドレスに「申込完了メール」が届きます。 ●ファックスでのお申込みも可能です。下記申込書に必要事項を記入の上、切り取らずに送信してください。 ※オンライン受講の場合は参加者のメールアドレスが必要です。必ず参加者のメールアドレスをご記入ください。 ※コンサルタント及び教育機関の方のお申し込みはお断りしております。ご了承ください。
受講までの流れ	<p><会場受講の場合> 受講票と請求書を開催日の約2～3週間前に申込責任者宛へ郵送します。</p> <p><オンライン受講の場合> ①開催日の約1週間前になりましたら、「参加用URL」「ミーティングID」「パスコード」をメールにてご案内します。 ②テキストと請求書は開催日の約1週間前に申込責任者へ郵送します。</p> <p>【オンライン受講の注意事項】 ・配信システムはZoomを使用します。Zoomがインストールできるカメラ付きパソコンをご用意ください。また、イヤホン付きマイクのご使用を推奨します。 ・接続が切れないよう有線のLAN環境での受講を推奨します。また、接続先環境に起因する音声・映像障害などについては保証しかねますのでご了承ください。 ・IDを共有してのご利用や、画面を投影してのご利用など、参加者ご本人以外のご利用はお断りします。 ・研修の撮影・録音は固くお断りします。</p>
キャンセルについて	<p>お客様のご都合によりキャンセルされる場合には、以下のキャンセル料を申し受けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場受講の場合：開催日の前日(土日祝日を除く)・当日……………受講料の100% ・オンライン受講の場合：テキスト発送後(開催日の約1週間前)……………受講料の100% <p>※テキスト発送日はセミナーにより異なりますので下記担当者へご確認ください。 営業日の17:30以降のご連絡は、翌営業日の取り扱いとさせていただきます。</p>
申込み・問合せ先	<p>一般社団法人中部産業連盟 マネジメント研修事業部 大土井 〒461-8580 名古屋市中区白壁3-12-13 TEL052-931-9826 FAX0120-342-340 e-mail: seminar@chusanren.or.jp</p>

会社名 _____ 年 月 日
〒 _____

所在地 _____ TEL _____ FAX _____

※オンライン受講を希望される場合は○を付けてください。

オンライン受講	参加者 所属部課・役職名	参加者氏名(フリガナ)	E-mail アドレス
○			
○			
○			

申込責任者 所属部課・役職名	申込責任者氏名(フリガナ)	E-mail アドレス

会社概要	業種(主要製品名)	資本金	従業員数	今回ご記入いただく個人情報、セミナー等の運営・情報提供(郵便、メール、FAX等)においてのみ使用致します。 詳細は当連盟HP(http://www.chusanren.or.jp/privacy/index.html)をご覧ください。同意のうえ、ご協力をお願い致します。関連情報が不要の場合には下記にシ点のご記入をお願い致します。
		百万円	人	

中部産業連盟会員(○印をお付けください) _____ 会員 ・ 会員外 _____